

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

沼田町は全耕地面積に占める主食用米面積の割合は約76%で、転作作物に占める小麦・大豆・そばをはじめ、水張転作である加工用米の面積が多い。

米の集荷施設を整備し、水稻の作付けに傾注してきた地域としては、主食用米の需要が減少する中、加工用米・備蓄米・米粉用米・新市場開拓用米・飼料用米で水張面積の維持を図っていくことが重要である。

生産数量目標の配分が廃止となった平成30年産以降においても「生産の目安」を推進し、その達成を行うため水田活用の直接支払交付金・産地交付金を活用しながら、加工用米・備蓄米・米粉用米・新市場開拓用米・飼料用米に取組み、系統（ホクレン）を中心としながら、JA北いぶき独自の実需者の開拓と結びつきを更に強化していくことが急務である。

その他、小麦・大豆・そばなどについては、排水不良による単収の低下を招いている圃場があることから、暗渠等の整備や本年度の大雪の影響が考えられることから融雪剤散布等による融雪促進・輪作等による土づくりが必要となっている。

また、複合経営の手段として、土地利用型のブロッコリー・加工用トマト、施設園芸の花卉・ミニトマト・メロンについて維持・拡大を目指していく。

2 作物ごとの取組方針等

沼田町の耕作者面積の約2,936haの水田について、適地適作を基本とし、産地交付金を有効活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

売れる米づくりの徹底により、米の主産地としての地域を確保する。

今後は需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。

また、中食・外食のニーズに対応した業務用米の生産と安定取引の推進を図る。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

産地交付金を活用しつつ、系統（ホクレン）を中心としながら、需要量と面積の拡大を図ることとし、必要数量に応じた契約数量を目指す。

イ 米粉用米

産地交付金を活用しつつ、地域の実需者との結びつきを強化し、生産拡大を図っていくこととし、必要数量に応じた契約数量を目指す。

ウ 新市場開拓用米

地域の水張転作の手段として、地域の実需者と新市場開拓用米に取組み、必要数量に応じた契約数量を目指す。

エ 加工用米・備蓄米

産地交付金を活用しつつ、系統（ホクレン）を中心としながら、JA独自の実需者の開拓を進め、需要量と面積の拡大を図ることとし、必要数量に応じた契約数量

を目指す。

(3) 畑作物

ア 小麦、大豆、飼料作物

サブソイラ等の耕盤層破壊や、簡易暗渠を含めた暗渠施工を取り入れ、品質向上と収穫量増加を目指す。

イ そば、てん菜、小豆

サブソイラ等の耕盤層破壊や、簡易暗渠を含めた暗渠施工を取り入れ、品質向上と収穫量増加を目指す。

(4) 高収益作物（園芸作物等）

「加工用トマト・ブロッコリー・花き・花木・ミニトマト・メロン」を振興品目として維持、拡大する。

(5) 転換作物の拡大

「麦・大豆・飼料作物・そば・てん菜・高収益作物・加工用米、新規需要米」を振興品目として、維持、拡大する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	2217.2	2217.0	2356.5
米粉用米	0.0	0.0	0.0
加工用米	47.23	59.1	63.0
備蓄米	166.2	171.1	13.5
飼料用米	3.8	1.7	6.0
WCS用稲	0.0	0.0	0.0
新市場開拓用米	0.0	0.0	10.0
小麦	61.8	62.3	63.1
大豆	73.5	96.9	97.0
そば	248.6	255.7	255.0
てん菜	20.2	6.1	17.7
小豆	2.0	0.1	2.0
加工用トマト	3.2	2.7	4.9
ブロッコリー	7.4	4.8	8.8
花き・花木	10.1	10.9	13.0
ミニトマト	0.5	0.6	0.8
メロン	0.5	0.9	1.0
その他作物	3.6	3.5	3.5

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目 標	目 標 値	
				前年度（実績）	目標値
1	小麦	麦生産性向上助成	単収 作付面積	(2019年度) 380kg/10a (2019年度) 61.8ha	(2020年度) 441kg/10a (2020年度) 63.1ha
2	大豆 (黒大豆を含む)	大豆生産性向上助成	単収 作付面積	(2019年度) 175kg/10a (2019年度) 73.5ha	(2020年度) 229kg/10a (2020年度) 97.0ha
3	そば	そば生産性向上助成	単収 作付面積	(2019年度) 55kg/10a (2019年度) 248.6ha	(2020年度) 85kg/10a (2020年度) 255.0ha
4	てん菜	てん菜生産性向上助成	単収 作付面積	(2019年度) 6,020kg/10a (2019年度) 20.0ha	(2020年度) 6,392kg/10a (2020年度) 17.7ha
5	小豆	小豆生産性向上助成	単収 作付面積	(2019年度) kg/10a (2019年度) 2.0ha	(2020年度) 221kg/10a (2020年度) 2.0ha
6	加工用トマト、ブロッコリー、花き、花木	地域振興作物助成	作付面積	(2019年度) 20.8ha	(2020年度) 26.7ha
7	メロン、ミニトマト	地域振興作物助成	作付面積	(2019年度) 1.0ha	(2020年度) 1.8ha
8	その他作物	地域振興作物助成	作付面積	(2019年度) 3.6ha	(2020年度) 3.5ha
9	加工用米	高収益作物等拡大加算	作付面積 取組面積	(2019年度) 46.7ha (2019年度) 46.7ha	(2020年度) 63.0ha (2020年度) 63.0ha
10	加工用トマト、ブロッコリー、花き、花木、メロン、ミニトマト、その他作物	高収益作物等拡大加算	作付面積	(2019年度) 25.3ha	(2020年度) 32.0ha
11	飼料作物・加工用米、新規需要米	転換作物拡大加算	作付面積	(2019年度) 54.6ha	(2020年度) 68.8ha
12	麦・大豆・そば・てん菜・高収益作物・	転換作物拡大加算	作付面積	(2019年度) 401.6ha	(2020年度) 447.1ha
13	そば	そば作付助成	作付面積	(2019年度) 248.6ha	(2020年度) 255.0ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり